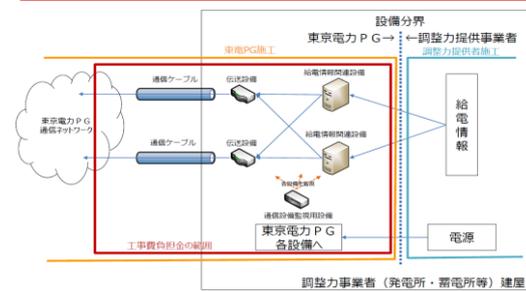


専用線オンライン構築に関するよくあるご質問

2025/2/5 更新

事業者さまからよくいただくご質問へのご回答を掲載しております。
 東京電力パワーグリッド株式会社への専用線オンライン接続を検討いただいている事業者さまにおかれましてはご確認いただけますようお願いいたします。
 なお、本内容は東京電力パワーグリッド株式会社へ専用線オンライン接続いただく場合のご回答となっております。
 他の一般送配電事業者さまへ接続いただく場合につきましては、対象の一般送配電事業者さまへご確認ください。

カテゴリ	ご質問	ご回答
概算見積	専用線オンライン構築する費用は大体どれくらいかかりますか。	概算見積を実施いたしますので、ご希望の旨を当社HP記載のお問合せ先（mms-tokyo@tepcoco.jp）までご連絡ください。担当窓口より概算見積のために必要な書類や確認事項についてご案内いたします。
概算見積	概算見積には費用が発生しますか。	概算見積については費用は発生いたしません。
概算見積	概算見積にはどのくらいの期間がかかりますか。	概算見積の申込から回答は検討内容に応じ1~3ヶ月程度要します。
概算見積	概算見積の申込方法を教えてください。	概算見積をご希望の旨を、当社HPに記載のお問合せ先（mms-tokyo@tepcoco.jp）までご連絡ください。担当窓口より概算見積のために必要な書類や確認事項についてご案内いたします。
概算見積	概算見積の申込はどの事業者からすればよいですか。	概算見積については、基本的には調整力提供者さまからのお申込をお願いしておりますが、別の事業者さまよりお申込いただくことも可能です。
概算見積	概算見積には有効期間がありますか。	概算見積は、専用線オンライン工事申込をいただく前段階として、事業性判断等の参考としていただくため、あくまで机上設計による概算をお出ししているものでございますので、有効期間はございません。専用線オンライン工事申込をいただいた際には、改めて現地測量、設計等を実施した後に、費用・期間等に関する見積を実施いたします。
工事申込	構築申込の方法を教えてください。	構築申込の前に、まずは概算見積の申込をお願いいたします。概算見積の結果を踏まえ、工事申込するかどうか事業者さまにてご判断いただき、工事申込をする場合にはその際にお申込方法や必要書類をご案内いたします。
工事申込	構築申込はどの事業者からすればよいですか。	構築申込については、「発電量調整供給契約を申込いただく発電契約者さま」よりお申込が必要です。
工事申込	専用線オンライン構築はどの段階で申し込みが必要になりますか。	発電量調整供給契約申込時、もしくは申込以降にお申込をお願いいたします。なお、現在世界的な半導体不足により専用線オンラインの工事期間が長期化しておりますため、ご迷惑をおかけすることとなり申し訳ございませんが、専用線オンラインで需給調整市場へ参入予定の場合は可能な限り早めに概算見積申込および構築申込をしていただきますようお願いいたします。
工事申込	構築HPに申込の流れが記載されているが、構築申込～技術協議・見積～工事負担金契約締結までは、標準的なケースでそれぞれのくわいがありますか。	申込書面に不備がないことを確認した時点で交付とし、交付～技術協議・見積に約2.5ヶ月、見積～工事費負担金契約締結・ご請求に約2ヶ月を想定しております。なお、工事費負担金のご請求からご入金までの期間はHP掲載の工事期間には含んでおりません。
工事申込	工事申込後の見積には、見積り有効期限は設定されますか。（見積りから何日以内に契約締結しなくてはならないなどありますか）	見積りには有効期限の設定はされていません。
工事申込	工事費負担金契約締結し工事費負担金の請求を受けてから、入金までの間は工事費負担金契約書の中で期限は設定されますか。	負担金契約書には、支払い期限日が設定されます。なお、支払い期限日は発電業者（発電契約者）様と当社の協議によって決定しますが、工事費負担金は当社工事着手前にお支払いいただく必要があります。また、負担金契約書に記載された支払い期限日を超過しても工事費負担金の入金確認が取れなかった場合、当社はお支払いの督促を行います。その結果、入金時期が遅れた場合は、当社工事着手以降の工程も遅延することとなりますので、発電業者（発電契約者）様ご希望される運開予定時期までの専用線オンライン工事の施設が困難となります。
工事申込	専用線オンラインの設備構築後、専用線オンラインの設備に対して継続的に事業者から東京電力パワーグリッドへ支払いする必要がある費用はありますか。	工事費負担金を除き、事業者さまから当社へお支払いいただく費用はございません。
工事	専用線オンライン構築にあたり、発電場所に設置する伝送装置の所掌と設置する場所には指定はありますか。	下記工事概要図が基本的な例となります。当社の施設する設備は当社所有設備となり、一般設備は発電所棟屋内に設置させていただきます。 専用線オンライン化工事 通信設備概要図（例：光ケーブル回線の場合） 
工事	専用線オンライン構築に係る工事の所掌について教えてください。	機器の設置や配線工事は、各分界点を境に所掌が分れます。分界点より当社側については、当社にて工事を実施させていただきます。HPにて分界点の標準的な例を示しておりますのでご参照下さい。なお、当社側にて装置やケーブルを設置・布設するための環境は、事業者さまにて準備いただく必要があります。通信ケーブル用配管や、装置・ラック据え付けのための基礎を含めて事業者さまにて施工していただきます。
工事	HP記載の図に給電情報伝送装置（eHCT）等は発電所棟屋内に設置するようですが、蓄電所に建物がない場合はどうなりますか。	給電情報伝送装置（eHCT）は屋内仕様となり屋外設置はできないため、必要環境（通信設備の設置・保守スペース、無停電電源、空調設備等）をご提供いただけない場合、専用線オンラインを構築いただくことはできません。なお、無停電電源の供給時間につきましては協議の上決定させていただきます。
工事	専用線オンライン構築において必要な環境について教えてください。	専用線オンライン構築においては、当社HPにて公表しております「系統連系に係る設備設計について」にもとづき、建屋内の通信設備の設置・保守スペース、無停電電源、空調設備、当社ケーブル布設・配線に必要な環境等を提供いただきます。 ○東京電力パワーグリッドHP 送配電系統利用に関するルール https://www.tepcoco.jp/pg/consignment/rule-tr-dis/ ・系統連系に係る設備設計について<発電設備（高圧・低圧）> Ⅲ 発電設備（高圧） 1 基本事項 1-18 連絡体制 (1) 保安通信用電話 ・系統連系に係る設備設計について<発電設備（特別高圧）> Ⅱ 発電設備（特別高圧） 1 基本事項 4 お客さま構内の当社設備 4-4 電力保安通信設備の設置 (1) 主要電力保安通信設備
工事	無停電電源が必要となるのはなぜですか。	給電情報伝送装置（eHCT）、伝送装置等は連続した電源のON/OFFに耐えられない設計のため、設備故障回避のため無停電電源をご用意いただく必要があります。なお、無停電電源の供給時間につきましては協議の上決定させていただきます。
工事	設置する設備の仕様、大きさ、供給電圧等について教えてください。	設置する設備についての詳細は、構築申込をいただいた際の現地調査や技術協議によって、ご調整させていただきます。
工事	給電情報伝送装置（eHCT）を收容する筐体等は必要ですか。	給電情報伝送装置（eHCT）については個別立架となりますので收容筐体は不要となります。
工事	専用線オンライン構築にあたり通信ケーブルは2回線必須ですか。	需給調整市場における専用線オンライン化工事について、信頼度確保の観点から調整力公募と同様に原則複数ルート化いただいております。
工事	専用線オンライン構築した場合、出力制御指令回線は構築が必要ですか。	専用線オンラインを構築する場合の、出力制御指令回線の構築の考え方は、経済産業省第50回系統ワーキンググループ（2024/3/11開催）にて整理されており、当社エリアでは一次調整力以外の下げ方向含む余力活用契約締結いただく場合、調整力指令の「出力値制御」信号の1つにまとめて送受できるように実装する方法（方法B）で対応いたします。一次調整力以外の下げ方向含む余力活用契約を締結いただけない場合は、調整力指令の「出力値制御」信号と出力制御指令の「コマ・上限%」信号の2つを送受できるように対応（方法A）いたします。そのため、余力活用契約締結有無により事業者さま側での出力制御指令回線の構築要否が異なりますので、専用線オンライン構築申込時に余力活用契約締結予定有無を確認させていただきます。詳細は、別紙「専用線オンライン構築時の出力制御の考え方」をご参照ください。
工事	専用線オンライン構築にあたり、事業者側で準備が必要な通信機器はありますか。	特設事業者さまにご準備いただく通信機器はございません。